

リコール検討会リコール等調査・分析WG検討状況概要

1. 検討状況

リコール検討会リコール等調査・分析WGについては、課題3「リコールに至る自動車の不具合の発生原因の分析と削減方策」に関して、

(1) 近年のリコール増加の原因の分析

(2) リコールに至るような不具合を削減するための方策の検討の項目について検討することを目的としている。

これまで、近年のリコール増加の原因の分析のため、メーカーから設計・製作環境や品質管理体制等の変化についてメーカーアンケート(対象87社)、メーカーヒアリング(対象3社)を実施し、さらに、第1回リコール検討会リコール等調査・分析WG(平成20年6月25日)、第2回リコール検討会リコール等調査・分析WG(平成20年10月14日)において、メーカーアンケート、メーカーヒアリングの結果及びリコール届出等の統計資料を踏まえて検討を行った。

2. 近年のリコール増加の原因について

これまでのWGにおいて、リコール増加の原因となっている可能性があるとして、以下を検討している。

- ・ 自動車メーカーのリコールに対する姿勢の変化
- ・ 「使用実態と各種評価基準の乖離」及び「基準に対する設計・評価の不足」
- ・ 自動車の電子化の進展
- ・ 海外調達部品の増加
- ・ 不具合の初報入手からリコール届出までの期間の長期化
- ・ 量販車でのリコール
- ・ 部品の共通化

3. 今後の検討について

リコール届出等の統計資料を踏まえてより詳細に近年のリコール増加の原因の分析を行うとともに、リコール増加の原因を踏まえたリコールに至るような不具合を削減するための方策について、第3回リコール検討会リコール等調査・分析WGにおいて検討を行うことを予定している。